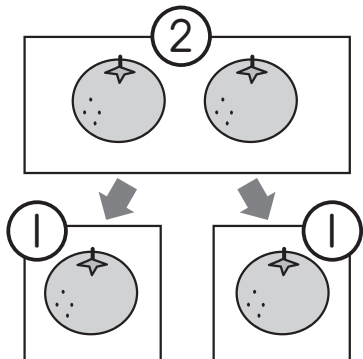


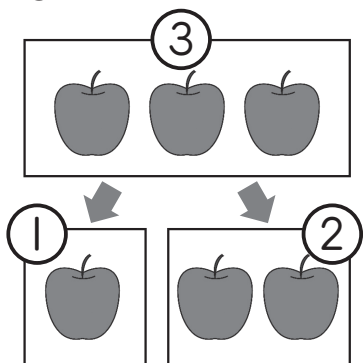
2は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましょう。



2	
1	

2	
	1

3は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましょう。

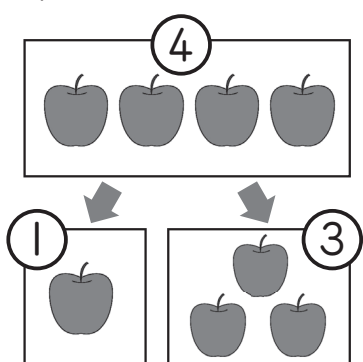


3	
1	

3	
2	

3	
	1

4は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましょう。



4	
1	

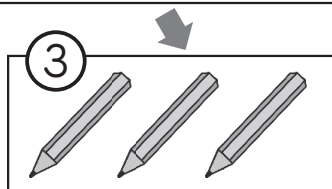
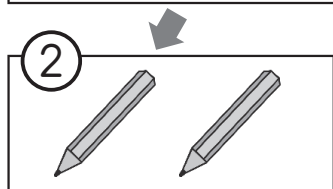
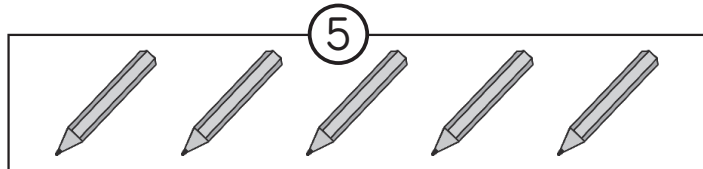
4	
2	

4	
	3



数の分解の練習です。はじめは絵を数えたり指を使ってもかまいませんが、何度も反復練習して、頭の中で2つの数に分解できるようになりましょう。

5は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましょう。



5	
2	

5	
4	

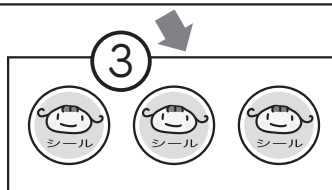
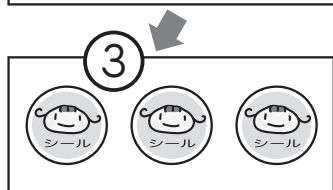
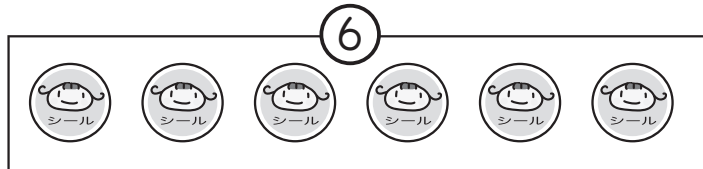
5	
	3

5	
	1

5	
	4

5	
3	

6は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましょう。



6	
3	

6	
	2

6	
5	

6	
	4

6	
	1

6	
3	



おうちのかたへ

何度か練習したら、「5は、1と4、2と3、3と2、4と1」「6は、1と5、2と4、3と3、4と2、5と1」というように、暗唱させるのもおすすめです。

7は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましよう。

7	
2	

7	
	6

7	
3	

7	
	4

8は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましよう。

8	
	4

8	
3	

8	
6	

8	
	1

9は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましよう。

9	
2	

9	
	5

9	
1	

9	
6	

□に あてはまる かずを かきましよう。

7	
	1

9	
7	

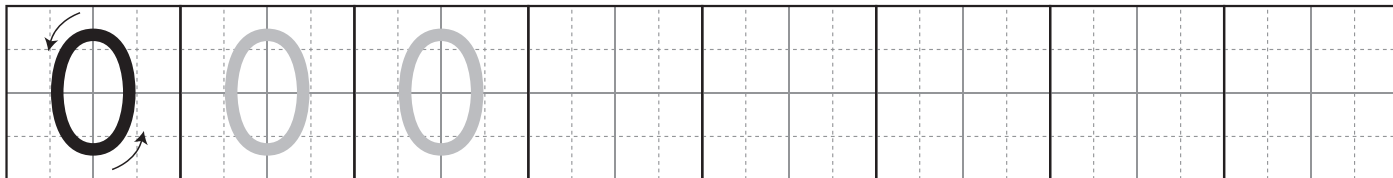
8	
5	

9	
	3



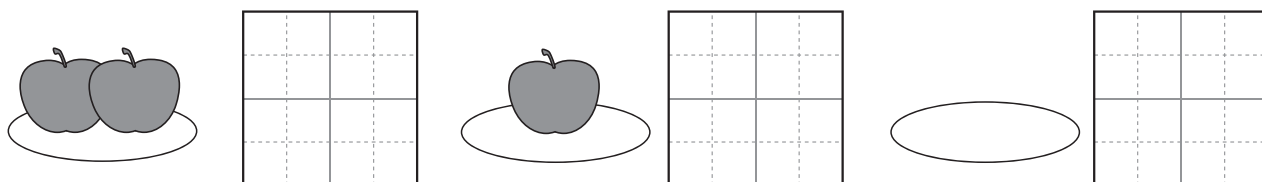
タイムを毎回記録し、少しずつ速くできるようになっていることを実感させるのも有効です。慣れてきたら「7は、1と6、2と5…」と、ひとつ前のプリント同様に暗唱させましよう。

すうじの 0について、かきかたと いみをおぼえましょう。

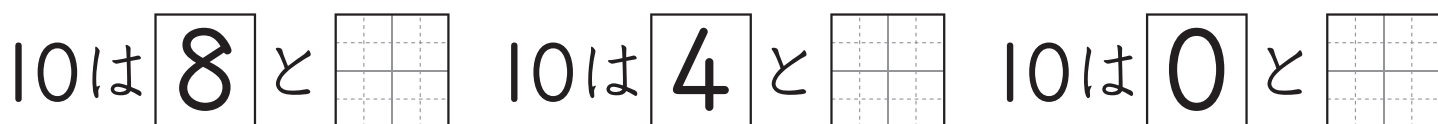
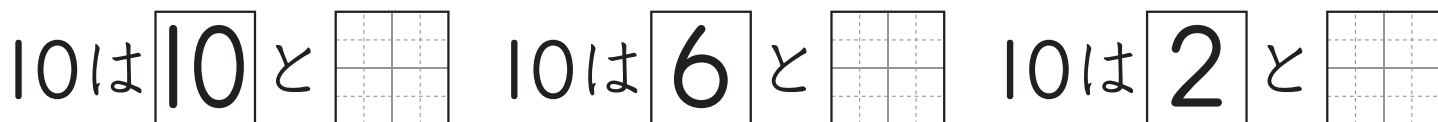
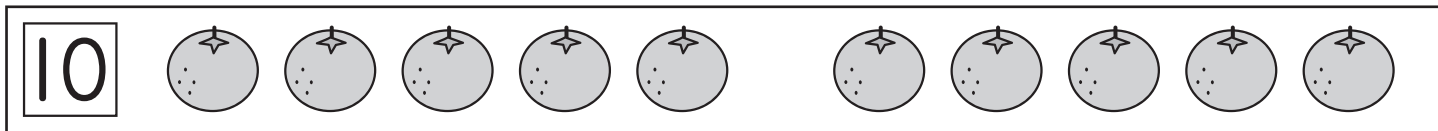


0は、「れい」や「^{ぜろ}ゼロ」とよみます。ものの **かず**が **ひとつ**も **ない** ようすを **あらわ**します。

りんごは **いくつ** あるでしょう。□に **かず**を **かき**ましょう。



10は **いくつと** **いくつ**に **わけ**られるでしょう。□に **かず**を **かき**ましょう。



どういう状態を「0」というのかは、実生活を通して理解させるのがいちばんです。「クッキーが3個あったけど、全部食べたから残りは0だね」などと説明してあげてください。

10は いくつと いくつに わけられるでしょう。□に かずを かきましょう。

10	
5	

10	
	9

10	
6	

10	
9	

10	
	8

10	
	3

10	
0	

10	
	2

10	
10	

10	
7	

10	
8	

10	
4	

10	
1	

10	
	4

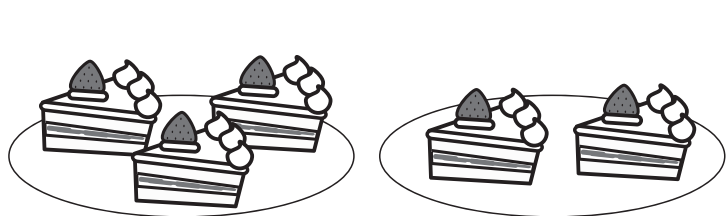
10	
	5

10	
	3



10の分解・合成の習熟は、今後学習するくり上がりやくり下がり計算をスムーズに習得する上で大切な土台となります。空いている□の数が瞬時に言えるようになるまで練習しましょう。

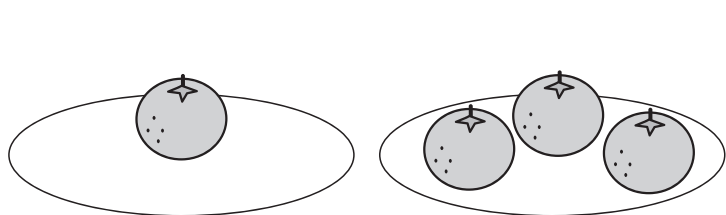
① ケーキが あります。あわせて なんこでしょう。□に すうじを かきましょう。



しき $3\text{こ} + 2\text{こ} = \square\text{こ}$

こたえ $\square\text{こ}$

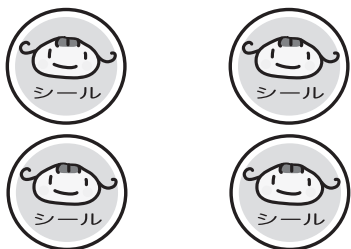
② みかんが あります。あわせて なんこでしょう。□に すうじを かきましょう。



しき $1\text{こ} + 3\text{こ} = \square\text{こ}$

こたえ $\square\text{こ}$

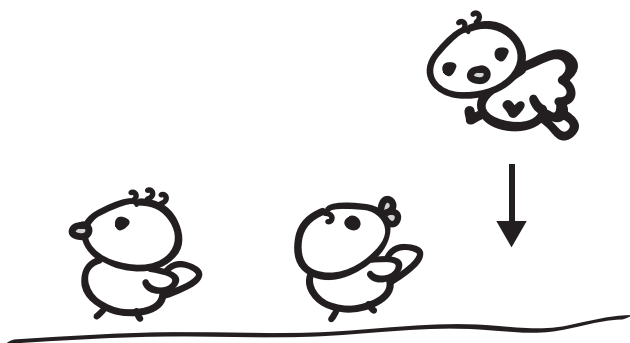
③ シールを 2まい もっています。いもうとも 2まい もっています。
あわせて なんまいでしょう。□に すうじを かきましょう。



しき $2\text{まい} + 2\text{まい} = \square\text{まい}$

こたえ $\square\text{まい}$

- ① とりが 2わ いました。1わくると なんわに なるでしょう。
□に すうじを かきましょう。



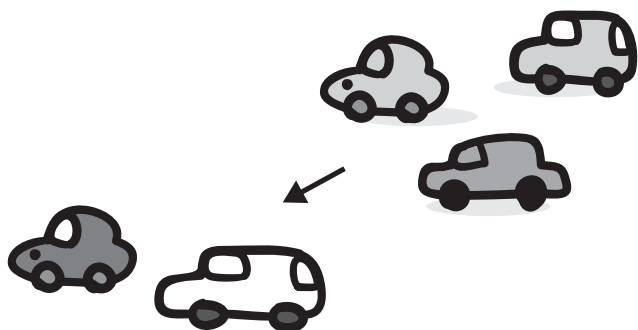
しき

$2 + 1 = \square$

こたえ

わ

- ② くるまが 2だい ありました。3だい くと、なんだいに なるでしょう。
□に すうじを かきましょう。



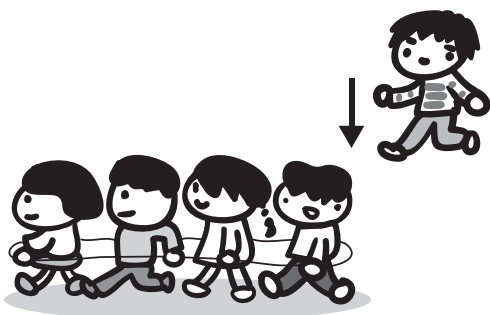
しき

$2 + 3 = \square$

こたえ

だい

- ③ こうえんに 4にん いました。ひとり くと なんにんに なるでしょう。
□に すうじを かきましょう。



しき

$4 + 1 = \square$

こたえ

にん



おうちのかたへ

「もともとあった数に、何かか増えるといくつになる?」という問題です。問題文の条件をよく読んで式を考える練習も、今から始めておきましょう。

たしざんを しましょう。

① $1 + 1 =$

⑥ $2 + 1 =$

② $1 + 2 =$

⑦ $3 + 2 =$

③ $2 + 2 =$

⑧ $4 + 1 =$

④ $3 + 1 =$

⑨ $2 + 3 =$

⑤ $1 + 4 =$

⑩ $1 + 3 =$



**おうち
のかたへ**

和が5までのたし算10題です。答えがすぐにわからないようなら、SS-011、SS-012「いくつと いくつ①②」のプリントを復習しましょう。

たしざんを しましょう。

① $2 + 4 =$

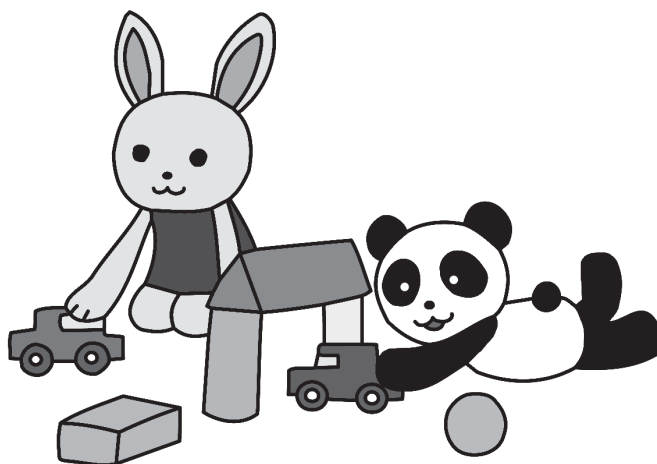
④ $4 + 3 =$

② $3 + 3 =$

⑤ $3 + 4 =$

③ $4 + 2 =$

⑥ $4 + 4 =$



**おうち
のかたへ**

和が6から8までのたし算6題です。答えがすぐにわからないようなら、SS-012、SS-013「いくつといくつ②③」のプリントを復習しましょう。

たしざんを しましょう。

① $5 + 1 =$

⑥ $5 + 3 =$

② $1 + 2 =$

⑦ $2 + 5 =$

③ $3 + 2 =$

⑧ $7 + 2 =$

④ $6 + 3 =$

⑨ $4 + 4 =$

⑤ $4 + 2 =$

⑩ $8 + 1 =$



おうち
のかたへ

和が9までのたし算10題です。和が9までのたし算は答えを覚えてしまうくらい、練習をくり返しましょう。